

# 住総研

# 住まいの本展

展示テーマ：「住環境について考える」

2016年7月20日(水)～8月31日(水)の平日

9:00～12:00 / 13:00～16:00

一般財団法人 住総研 2階 図書室

※7月28日(木)と8月11日(木・祝)～19日(金)は休室, 8月1日(月)は13:00より開室

## ●今年度のテーマ「住環境を再考する」：住総研では毎年、研究テーマを設定し活動しています。

2013年に省エネ法の基準が改正され、住宅・建築も一次エネルギー消費量、いわゆる燃費性能で評価されるようになった。先進的な住宅ではゼロ・エネルギーやゼロ・エミッションも可能になってきた。日本の住宅分野におけるエネルギー消費量は増加を続け、いまや日本全体のエネルギー消費量の約15%を占めるまでになっている。

こうした動向に加え、スマートコミュニティやスマートシティ等の送配電網に関わる新規技術も提案されるようになった。しかしながら、技術が先行している感があり、建築空間の提案や生活の豊かさに関して考察を加えた研究は必ずしも多くない。住宅の環境は古くからそれを使用する人間との関係で考えられて来たが、近代になって冷暖房技術の発展によって安易に技術に頼り過ぎる傾向もみられるようになった。また、高齢化もさらに進み健康で快適な暮らしをどのように持続するのかが課題になってきている。

個々の住まいから地域、そして地球規模に広がりを見せる住環境への対応には、家電などの個々の設備や技術単体から住まいとの融合、更には地域、そして地球の温暖化対策へと連続した、横断的かつ総合的な対策が求められている。将来的には、自然の持っている水や大気の浄化力や循環力の利用、自然の生態系との融合を図り、限られた地球という空間での永続できる環境を創出することが要求される。これから未来へ引き継いでゆく居住環境について、多面的な議論と研究の深化により、新たな展望を描くことを期待して柔軟な提案が出来るように設定したテーマです。

住総研 「住環境を再考する」研究委員会 委員長 田辺新一

